



報道関係者 各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2024年12月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年6月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>



2024年12月度ギャラクシー賞月間賞

ドラマ10「宙わたる教室」

10月8日～12月10日放送 22:00～22:50 日本放送協会 ランプ NHKエンタープライズ

主演・窪田正孝の抑制の利いた演技が磁力を放ち続けた。科学部4人のキャスティングも多様なアンサンブルが魅力的だった。それぞれに割り切れない事情を抱える彼らが、科学が持つ一つの真理に惹かれて打ち込む姿に頷けた。第4話のイッセー尾形による10分にわたる一人芝居は記憶に残る名演で、脚本演出の果敢な実験と成果だった。

大河ドラマ「光る君へ」

1月7日～12月15日放送 20:00～20:45 日本放送協会

色鮮やかな平安絵巻のなかで、紫式部と藤原道長の複雑な心模様を堪能できた1年だった。合戦シーンがほとんどなく物語の筋立てが難しいとも言われていたが、大石静の描く人間模様は見事。教科書の中でしか知らなかった物語の作者たちが登場し、絶妙なキャスティングで時代背景とともに強烈な印象を残した。特筆すべき大河ドラマだった。

金曜ドラマ「ライオンの隠れ家」

10月11日～12月20日放送 22:00～22:54 TBSテレビ TBSスパークル

ハラハラドキドキの展開のなかで家族の愛情や多様な生き方などを温かく描き、絶妙なバランスの中で展開したドラマ。現代社会や家族のさまざまな側面をちりばめながら、エンタメ性抜群の作品だった。柳楽優弥や尾野真千子の安定感に加えて、自閉スペクトラム症の美路人を演じきった坂東龍汰やライオンの佐藤大空の演技も光り、感動的なシーンが満載だった。

日曜劇場「海に眠るダイヤモンド」

10月20日～12月22日放送 TBSテレビ TBSスパークル

日本の近代化を支えながらも、歴史の地層に埋もれていった炭鉱の人々の記憶が作品を通じて掘り起こされる。個人の記憶アーカイブに過ぎなかった鉄平の記憶が、いづみと玲央に読まれることで集合的記憶になって、さらにドラマ自体が社会が忘却していた記憶を視聴者に共有させる。凄いドラマである。

★詳細は月刊誌「GALAC」2025年3月号に掲載します